令和６年度 決算額 一般会計 644億円！

市のお金の使い方が正しかったのかどうか 議会でしっかりと議論しました！！

防犯カメラの設置推進（総務安全分科会）

安全で安心なまちづくりを推進し、地域の防犯活動を支援するため、自治会及び連合自治会が設置する防犯カメラに対し、補助金を交付しています。令和６年度は 1125 万円が使用されました。

市議会議員：防犯カメラ設置補助金について、補助内容や実績はどのようになっているの？

市の担当者：令和6年度は国の物価高騰対策の補正予算を活用し、１台あたりの補助額上限については例年15万円を22万5,000円に増額しました。また補助率についても例年2分の1のところを4分の3、補助の１自治会あたりの上限台数も例年1台のところを、5台に増やして実施しました。
補助実績については、21の自治会から申請があり、53台分の補助をいたしました。

市議会議員：犯罪抑止の手法の一つとして、効果的だと思うので事業を続けてもらいたい。

青少年健全育成事業（総務安全分科会）

市議会議員：青少年団体等補助金（令和６年度決算額：789,673円）とは、どのような団体に何件、交付されたの？

補助金を活用したイベントの様子

市の担当者：市内で青少年の健全育成活動を実施する団体に対し、桑名市青少年健全育成事業補助金などを令和６年度は７団体に交付しています。
子どもを対象にした地域のお祭り や見守り活動のような、家庭や地域が連携して、青少年の健やかな成長を支援する活動の支援を目的としています。

新規就農者の支援（都市経済分科会）

桑名市では、次世代を担う農業者の育成・確保に向けた取り組みを総合的に講じるため、農業経営を開始する青年新規就農者に対して補助金を交付しています。経営確立に資する「経営開始資金」及び経営発展に必要な農業機械・施設導入等に係る経費を補助する「経営発展支援事業」として交付を行い、経営の安定を図ることを目的としています。

市議会議員：新規就農者総合支援事業費(1,100 万円)の内訳は？

市の担当者：経営開始資金を活用された方が４名、350 万円。発展支援事業としてビニールハウス施設の補助が１件、750 万円で合計 1,100 万円となります。

市議会議員：新規就農者の方は桑名市でどのようなものを作っているの？

市の担当者：マスカット、レタス、イチゴ、ブルーベリーの4種になります。

部活動の地域展開（教育福祉分科会）

桑名市では現在、生徒にとって望ましい形で持続可能な部活動のあり方と学校の働き方改革の実現に向けて検討を行っている。また、休日の部活動の段階的な地域展開と、それに向けた合理的で効率的な部活動のあり方についても検証を行っており、桑名市部活動サポート事業費として、522万円が使用されました。

市議会議員：令和６年度は、３つの地域団体と連携し、実証事業を行ったとのことだが、その３つの地域団体とはどこなの？また、対象校はそれぞれどうなっているの？

市の担当者：次の３つの地域団体に休日部活動の全部または一部を委託しています。
①桑名バレーボールアカデミー様（明正中学校）
②桑名ソフトボールアカデミー様（陵成中学校、明正中学校）
③なばなコミュニティアンサンブル様（長島中学校）

市議会議員：今後委託予定の７団体とはどこを想定しているの？

市の担当者：上記の３団体に加えて、水泳、卓球、陸上競技、バスケットボールの種目について、団体や協会との連携をしています。

桑名フィルムコミッション（都市経済分科会）

桑名フィルムコミッションは、映画やドラマ等の制作を支援するため、誘致から公共施設の使用手続き調整等、公開までのお手伝いをワンストップで行う窓口です。桑名市で撮影された映画やドラマ等の作品を通じて、市の魅力を広く発信・地域活性化を図るため、ロケ地マップやポスターの作成、SNS での発信を行っています。令和６年度は当事業費として、361 万円が使用されました。

市議会議員：桑名フィルムコミッション事業として、様々な展開をしていると思うが、撮影場所等への観光誘客の状況はどうなっているの？

ロケ地巡りバスツアーの様子

市の担当者：令和６年度に全国公開された映画「アイミタガイ」は、桑名の街が舞台の映画となった作品で、桑名でたくさん撮影が行われました。今年１月によしもと芸人とコラボして開催したロケ地巡りバスツアーでは、キャンセル待ちが出るほどの大反響で、県内外から約 50 名の方に参加いただきました。

おむつの回収とサブスクリプション（教育福祉分科会）

保護者、保育士の負担軽減のため、市内の保育施設において使用済み紙おむつの回収及びおむつのサブスクリプション（定額制）の導入を進めるための費用として、762 万円の予算が計上されたが、使用されたのは 399 万円にとどまりました。

市議会議員：予算を使えなかった理由は何？

市の担当者：全ての公立保育所で本事業を実施している一方で、私立保育園では半数程度の利用にとどまっていることが要因の一つであると考えています。
ただ、令和６年度に私立園の内、10 園が使用済み紙おむつ保管用ゴミ箱を購入したことから、今年度以降は、処分費が増加する見込みです。

議員定数の検討について

桑名市議会では令和7年4月から、議員の諮問機関として議員定数あり方検討会を設置し、本市議会における適切な議員定数のあり方について審議しました。

桑名市議会ではこれまでも市政の状況等に応じて、議員定数の見直しを行ってきたよ！

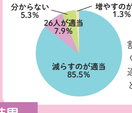
■桑名市議会　議員定数の推移
H16/12/6(合併当時)…58人（合併特例法による）
H18/12/6　～　…34人
H22/12/6　～　…30人
H26/12/6　～　現在…26人

検討経過

検討会の開催
市民の皆様のご意見や他市議会の状況、学識経験者への意見聴取等を参考とし、計８回にわたり協議を実施しました。

他市議会への視察

市民の皆さまからの意見募集
Q.桑名市議会の議員定数（現在26人）について適当だと思いますか。



「減らすのが適当」の割合が85.5%と最も高く、次いで「26人が適当」の割合が7.9%となっています。

検討の結果

令和７年11月、議長に対し、以下のように答申しました。

【答申】　※主な理由など、全文についてはこちら
○桑名市議会議員の定数について
次期市議会議員選挙から議員定数を「**24人**」とすることを答申する。　※現在の議員定数は 26 人

議長への答申を受けて、12月定例会において、「桑名市議会議員定数条例」改正の議案が提出される予定です。
議案が可決されれば、次期改選（令和８年12月予定）から適用されることになります。

あり方検討の詳細については、こちら

議会まちなかミーティングを開催しました！

これまで以上に**市民の皆さまの意見を聴く**ことを目的とし、従来の議会報告会を大幅に見直し、議会まちなかミーティングとして開催しました。
たくさんの方々にご参加いただきました。ありがとうございました！

皆さまの感想（抜粋）
議会まちなかミーティングに参加された皆さんに感想をお聞きしました。
●市民の声を聞こうというところは評価する。ぜひ市民の声を市政に反映させてほしい。
●自分達の住んでいる地域の事をみんなで考えるのは非常に大事な事だと思う。
●少し時間が短かった。
●「市民から直接声を聞く」場を設けるという所までは評価するが、テーマ毎に分けてもらわないと、広く浅くなってしまい、消化不良しかない。

当日いただいたご意見
学校再編に関する内容など、市民の皆さまが今注目している内容について、多くのご意見をいただきました！
ご意見の詳細はこちら▶

議員の感想（抜粋）
●市民と議員が双方向で話す機会ができて良かった。
●周りの雰囲気に圧倒されてご自身の意見を十分に話すことができなかった方もいたように感じる。
●議員のコーテーションにより、意見交換がスムーズにいかなかった場面もあったように感じる。
→　**反省点は次回以降に見直しを検討します！**

頂戴したご意見については、議員間の共有、担当委員会へ送付などの対応を進めています。

議会まちなかミーティングの詳細はこちら▶
次回以降の開催についても、決まり次第情報を掲載していきます！

編集／桑名市議会広報広聴委員会

委員長／近藤　浩　　副委員長／渡辺　仁美
委　員／伊藤　知美、森　英一、太田　誠
　　伊藤　真人

議会に興味を持っていただけるよう、「読みたくなる議会だより」を目指し、広報広聴委員会の委員6名で編集をしています。皆様にとって、身近な議会になるよう今後も努力いたします。

お問合せ
桑名市議会
〒511-8601 桑名市中央町二丁目37番地
電話：0594-24-1304　FAX：0594-24-1359
メールアドレス：gikaijm@city.kuwana.lg.jp

桑名市議会ホームページ
桑名市議会インターネット映像配信

〈発行〉桑名市議会　〈編集〉広報広聴委員会

2025年（令和7年）
12月1日号
第38号

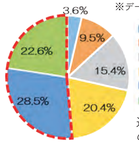
くわな市議会だより

総務安全委員会

公共施設の老朽化

市内の多くの公共施設は、建設から数十年が経過し、老朽化が進んでおり、これに伴い維持管理や修繕にかかる費用増加が大きな課題となっています。

■公共施設の老朽化割合
（10年後の令和16年の想定）



令和16年度想定

近い将来**半数以上**の施設が**築50年以上**に！

財政負担の増加
市は、現在の公共施設の今後50年間に必要な更新費用を**約45億円/年**と試算している一方、今後、改修等に投じることができる経費は**約15億円/年**と推計しています。
そのため、多くの施設が将来的に使用不能となり廃止せざるを得なくなる見込みです。

市の計画と取組
市も課題と認識して取り組んでいるんだね！
「桑名市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設の複合化・多機能化を図り、延床面積を今後50年間で33 %削減することを目標として取り組んでいます。

施設の現状を的確に把握し、将来の人口動向や財政状況を見据えて、**更新・統廃合・複合化**などの方針を整理し、早期に効率的かつ持続可能な施設運営を目指す必要があると考え、総務安全委員会として、調査を行うこととなりました。

総務安全委員会からの政策提言

総務安全委員会では、行政の中核を担う**本庁舎**に焦点を当て、現状の課題や今後の在り方について、参考となるよう提言しました。

住民の利便性の向上
多様な市民の声を反映すること。そのために公募と無作為抽出を併用した市民会議を設置し、対話型ワークショップを開催することを提言しました。

新庁舎の整備 ≠ 単なる建物の更新
市民と協働するまちづくりの拠点づくり

一般財源の縮減
庁舎の建設等に限定した基金を創設し、設計・施工を行う年度に一般財源※1から過剰な支出とならないように計画的な積立を検討すること。
また、様々な事業手法及び補助金の活用などを模索し、時勢に合った一般財源の縮減を提言しました。
※１ 一般財源とは、使途が特定されず、どのような経費にも使用することができる財源をいう。

その他に以下のような内容についても提言しました。
- **新庁舎の建設にあたっては可変性の高い執務スペース、託児施設の設置等、創意工夫することで、職員の労働環境の向上を図ること。**

市の政策をよりよくしたい！
市議会→桑名市に政策提言しました！

桑名市議会議長 愛敬重之　桑名市長 伊藤徳宇
10月31日政策提言の様子

政策提言：市議会では、各委員会の取り組みとして市の政策推進並びにみんなの政策に おいて参考となるよう提言を行っています。

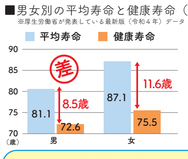
教育福祉委員会

健康寿命をいかに延ばせるか

※2 健康寿命とは
健康上の問題によって日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。

日本は世界的にも長寿国と言われてますが、平均寿命と健康寿命※2 の差は依然として小さくなく、**健康寿命をいかに延ばすかが大きな課題**となっています。

■男女別の平均寿命と健康寿命（全国）



男女ともに平均寿命と健康寿命には大きな差が！健康寿命の延伸に向けた取組が重要に！

市では、高齢者が誰でも参加でき、体操や趣味活動等が行える「通いの場」等に積極的に関与（健康教育やフレイルチェックの実施）をする等、様々な介護予防の取組を行っているよ。

教育福祉委員会では、次の２点を課題としてとらえました。
- **フレイル※3の認知度が低く、予防意識が十分に浸透していない**
- **高齢者の指向にあった多様な地域資源が求められている**

※3 フレイルとは
健康な状態と要介護状態の中間段階であり、身体の機能等が落ちているが、対策を行えば健康な状態に戻る可能性がある状態のこと。

教育福祉委員会からの政策提言

※4 インフォーマルな地域資源とは家族や近隣住民などの地域の助け合いやボランティアだけでなく、民間事業者等も含む多様な主体が供給するもので行政が提供する公的なものとは異なる。

民間等を活用した地域資源の創出
近年進む高齢者の指向の多様化に対応するため、高齢者が主体的にサービスを選択し、活躍できる場の拡充が求められています。民間事業者と連携し、**インフォーマルな地域資源の創出※4**等を進めるため、継続的な協議体制を構築するよう提言しました。

フレイル予防の推進に向けた取組
フレイル予防への関心を高めてもらうため、より多くの方が利用しやすいようスマートフォンアプリ等を活用し、毎日の健康状態を記録・管理できる仕組みを構築し、健康行動の習慣化を促す取組を行うよう提言しました。

その他に以下のような内容についても提言しました。
- **具体的な数値目標等を設定し、効果的かつ継続的な健康増進を実現できるような健康づくり計画を策定すること。**
- **望まない孤独・孤立状態にある高齢者のための居場所づくりを行うこと。**

都市経済委員会

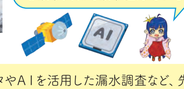
インフラの維持管理

※5 インフラとは
道路や上下水道などの社会基盤のこと。

日本のインフラ※5の多くは高度経済成長期に一斉に整備されていて、近年、これらの老朽化が深刻な社会問題となっています。しかし、財源や人材が限られる多くの自治体では、十分なメンテナンスが困難な状況となっています。

■老朽化した水道管から漏水する様子

水道管の老朽化は桑名市でも避けて通れない問題なんだね。
問題解決に向けて、AI 等の先進技術を取り入れて取り組んでいるんだね。



※6 管渠とは
雨水や下水を運ぶための管や水路のこと。

市の取組と現状
水道事業では、衛星データやＡＩを活用した漏水調査など、先進技術も積極的に取り入れて、一定の効果は得ていますが、管路更新が老朽化になかなか追いつかない状況です。
下水道事業は、まだ事業を拡大している普及段階で、管渠※6の老朽化は進んでいないものの、雨水ポンプ場など施設や設備については老朽化が心配されます。

今後、人口減少による収入や人材の不足が見込まれる中で、上下水道事業を適切に継続し、安心・安全な水環境を提供していくために、都市経済委員会としては、中長期的な視野に立った早期の取組が必要と考え、調査研究を行うこととしました。

都市経済委員会からの政策提言

■路面下空洞調査に使用される探査車

予防保全型インフラメンテナンスへの転換
水道管路・施設の老朽化対策に加え、下水道管の老朽化に備えて、従来の**事後保全型から予防保全型インフラメンテナンス**への転換を図るよう提言しました。

路面下空洞調査などデジタル技術等を活用し、効率的・効果的なメンテナンスをすることで、維持管理コストを削減し、持続可能な上下水道事業の実現に努めるよう提言しました。

あわせて水道料金の改定についても、より有効な維持管理手法等を研究するなどして、市民負担の軽減につなげるよう提言したんだよ。

その他に以下のような内容についても提言しました。
- **上下水道、道路、河川等インフラの管理部署及び防災・危機管理部署において、さらなる連携協力体制の強化を図ること。**
- **ＡＩなどＤＸの活用による省力化、技術水準の安定化を図るとともに、今後の上下水道事業を支える人材の確保、技術・ノウハウの継承に努めること。**